

新調された大太鼓で奉納される化屋名浮立

報社
あそみや

平成 4 年 1 月 1 日
第 6 号
発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名 862
TEL 0957-43-5235

瑞穂の国

阿蘇神社

宮司 大島 大明

記紀によると神世の昔、天照大神が皇孫ニギノミコトに神勅をくだされ、稲穂をお授けになりました。これが農業国日本の発展の根源となりました。

米を作るには多くの手間と動力が必要です。しかしこれ以上に天地自然の恵がなければなりません。各地の農村に伝わる伝統芸能の多くには、米をはじめとした五穀豊饒の祈りと感謝が込められています。神社でもすべての祭にま

ず米を神前にお供えます。遠い祖先は天地自然の恵によって収穫される稲作に霊力を感じ、稲を「穀霊」として信仰の対象にしてみましたし、又こうした神聖な米を食べることに、人は神とのつながりを確信してきました。

祖先から受け継いだ稲作、そして稲作を中心としての日本文化を私たちは後世に伝えなければなりません。それが真の瑞穂の国の姿なのです。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて、向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

- 一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
- 一、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと
- 一、世のため人のために奉仕し、
- 一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
- 一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

社務所改築に伴う 浄財募金のお願い

新しき年を迎え氏子崇敬者皆様方のご多幸を祈念申し上げます。皆様方には日頃より神社に対し格別のご協力をいただいております。本年も昨年同様に、ご高配を賜りますようお願いを申し上げます。

昨年九月に相次いで来襲した台風は県内各地、そして多良見町内にも未曾有の被害をもたらしました。罹災されました皆様方に心よりのお見舞を申し上げます。

さて、阿蘇神社社務所は昭和九十年に建設されたと云われ、爾来五十余年を経て、現在では白蟻の被害に加え、幾度かの台風の被害等によりご承知の通り危険な状態となっております。加えて昨年秋の台風で天井も一部落ちるところとなりました。

総代会といたしましては、慎重に審議を重ね、評議員会のご了承をいただき、この度社務所を全面的に改築することに決定し、昨年末に解体をさせていただきました。皆様方には事情をご賢察いただき

まして、社務所改築をご了承いただきますようお願い申し上げます。然し乍ら社務所の改築をするには、氏子・崇敬者の皆様方にご協力をお願いせねばなりません。後日浄財の募金を行なうことになろうかと存じますが、その節には格別のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

氏子・崇敬者の皆様方には、何彼とご迷惑をお掛けすること存じますがご容赦いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

阿蘇神社は、私たちの遠い祖先より大切に受け継ぎ伝えられております。そして神社を維持管理するための社務所の改築でございますので、より多くの氏子・崇敬者の皆様のお力添えをいただきたいと思っております。

時節がら皆様には、ご自愛いただきますよう祈念をし、社務所改築のご支援、ご協力をお願いを申し上げます。

平成四年一月 阿蘇神社総代会

例祭終了

阿蘇神社の例祭(くんち祭り)が十月十五日多数の参列のもと、厳肅に斎行された。当日は神社本庁・長崎県神社庁より幣帛料が奉納された。また諏訪神社より奉仕された神職巫女により神楽舞が奉奏された。

新嘗祭 斎行

十一月二十三日、五穀豊饒と諸産業の発展を感謝して新嘗祭を斎行した。神社庁西彼支部よりは献穀米が、また中里名山口充喜氏よりは初穂が献納された。

翌二十四日、化屋名浮立保存会(会長 松永里美氏)の新調した大太鼓入魂式が執り行われた。祭典後境内では笛・鉦の音も軽やかに、あざやかなパチさばきで太鼓の打ちぞめを行なった。(表紙写真)



謹賀新年

宮司	大島 大明
総代会長	北島 勇夫
副会長	本島 吉松
総代	森 肇
全	大場 英雄
全	峯 公治
全	相良 作實
全	上原 国雄
全	笹田 末吉
全	坂田 栄治
監事	松永 里美
全	平野 豊明

◆阿蘇神社祭事予定◆

- 十二月三十一日 午後 四時 大祓式
 - 午後 十一時 除夜祭
 - 一月一日 午前 一時 歳日祭
 - 午前 八時 元始祭
 - 二月三日 午後 五時 節分祭
 - 引き続き 火焼神事
 - 豆撒行事
 - 十一日 午前 十時 紀元祭
- どなたでも参列出来ます。ご家族お揃いでご参拝ください。

氏神さまと私たち

人生儀礼⑥

私たちは、この世に生を受けてより、両親を始め、ありとあらゆる人、天地自然の恵を受けて生きて行きます。常に感謝の心を忘れず、人生の節目には氏神様に参拝いたしましょう。



一、算賀の祝い

禍の多いとされる厄年に対して一定の年齢になったらこれをお祝いする慣わしがあります。「年祝い」又は「年寿」とも云いますが、この世に生命を受けてより幾



多の困難にもめげず、今日を生きていることを祝うものです。

(年齢は数え年)

還暦 六十一歳 十干十二支が自分の生まれ干支に還るので還暦と云います。

古稀 七十歳 中国の詩人杜甫の詩にある、「人生七十古来稀なり」からとって、古稀と云います。

喜寿 七十七歳 喜の字を草書体で書くと七十七に似ていることから喜寿と云います。

米寿 八十八歳 米の字は八十八と書くところから米寿と云います。

その他、八十歳を傘寿、九十九歳を白歳とも云います。これらの歳には神仏に感謝をいたしましょう。神社では随時祈願祭をしております。ご家族お揃いで参拝し、お祝いをいたしましょう。

平成四年算賀 数え歳

還暦 六十一歳 昭和 七年生

古稀 七十歳 大正十二年生

喜寿 七十七歳 大正 五年生

米寿 八十八歳 明治三十八年生

平成四年厄年

厄入 男 四一 昭和二七年生

女 三三 昭和三五年生

厄払 男 四二 昭和二六年生

女 三四 昭和三四年生

その他の厄年

男 二十五歳 昭和四三年生

女 十九歳 昭和四九年生

☆☆☆☆

◎「一年の計は元旦にあり」今年一年の家の安全・商売繁昌・交通安全・社運隆昌を家族揃って、また社員お揃いで参りください。

◎初詣・節分の臨時駐車場として、神社裏のイーグルパチンコ店の駐車場を借用しておりますので、ご利用下さい。

お祓いをお受けになる場合は、お手数ですが事前に社務所まで連絡をお願いいたします。

電話 四三二五三三五番

節分豆撒き奉仕者募集

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日夕方斎行されます。例年賑わっています豆撒き行事の奉仕者を左記の通り募集します。

申(さる)年生まれの方ならどなたでも参加出来ます。

希望者は神社までお申ください。裨の關係で定員に成り次第締め切ります。

記

一、日時 二月三日節分の夕方

一、募集人員 十八名

一、参加料 大人 八、〇〇〇円

子供 五、〇〇〇円

いずれも男女不問

一、申込方法 住所・氏名・生年月日・連絡先を明記して神社まで申してください。△電話でも可▽

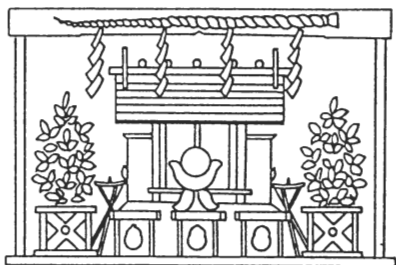
詳細については本人に直接連絡をします。午後六時より三回に分けて、豆撒きを行ないますので、友達・親子等一緒の組を希望する方はその旨申し出てください。



神棚をお祀りいたしましたしゅう

神棚は家庭の中心となる部屋で、明るく清浄な高い処に設けます。向きは、南か東の方を向くようにいたしましょう。(神棚がない場合には本棚などの上を仮の神棚としてお祀りしても差し支えありません。)

神棚のお社には一社造り(扉が一つ)と、三社造り(扉が三つ)のものがあります。神棚の祀り方



神棚のまつり方

について不明な事がありましたら神社までお尋ねください。

(お神札の祀り方)

(奥)

崇敬神社

産土神社

天照皇大神

(手前)

産土神社

天照皇大神

崇敬神社

(左) (中央) (右)

三社造り

一社造り

◎神社では、神殿・神具の頒布をしております。カタログもございますので、ご希望の方は神社までご連絡下さい。

- ◎お正月には、新しいお神札をお受けするのが日本人の習慣です。
- ◎神宮大麻、阿蘇神社お神札をご家庭にお祀り致しますしゅう。
- ◎古いお神札、お守り、その他の縁起物は節分までに神社に納めて下さい。節分の日の夜、火焼神事を行います。

◎奉納御礼◎

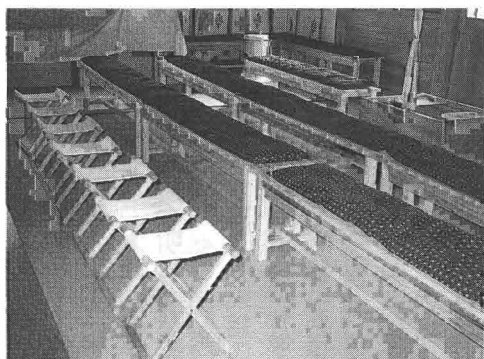
平成三年秋に以下の奉納をいただきました。ご厚志に感謝し心よりお礼申し上げます。末永く大切に使用させていただきます。

◎第一鳥居職支柱 一对 平野 豊明殿

◎出張祭典用祭壇 一組 小島 工作所殿

◎拜殿用木製椅子 十脚 池田 忠憲殿
かこい組(有)

◎右 椅子用座布団 十枚 奥浦 芳子殿



◎木づくり「けんがい」

長与町 坂口勝義殿
(元長与町消防団長)

◎ゴミ焼却罐 五个

松尾自動車整備工場
松尾 春雄殿

また、毎月境内の清掃奉仕をされています阿蘇区老人会、多良見町ライオンズクラブ、遺族会の皆様方にお礼を申し上げます。本年も宜しくお願い申し上げます。

◎大駐車場完備(阿蘇神社裏)
イーグルパチンコ
神社参拝の駐車場としてもご利用下さい